

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	昭和46年～		根拠法令・例規等	児童福祉法、岡山県市町村児童福祉法、つくり基金整備事業費補助金交付要綱	
総合計画	大項目 基本構想	01 重点政策「教育」	問合せ先	担当課(室)	保健福祉部 子ども課
	中項目 基本計画	01 将来を担う人材が育つまち		職・氏名	こども福祉係長 河上洋之
	小項目 施策	02 就学前の教育、保育等の充実		電話	0869-64-1825
事務事業名		01 公立保育園運営事業	このシート作成に要した時間		3.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	就学前の乳幼児と保護者	
目的(何のために)	生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子どもの就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	入園希望者に対して、待機児童数をなくすことで事業の目的を達成させる。また、保育園の充足率が上昇することによって、単位当たりのコストが下降し、効率化が図れる。	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保育園運営事業	市内認可保育園で乳幼児期の子どもの就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育する。	○
	へき地保育所運営事業	へき地保育園である頭島保育園で通常保育の実施。	○
	延長保育事業	市内延長保育実施保育園で就労等により保育時間が延長した子どもを保育する。	○
	地域組織活動育成事業	市内認可保育園で保護者により組織された母親クラブの活動費への助成を実施する。	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
決算額	事業費	千円	249,544	229,008	231,165	
	必要人員人件費	千円	57.03人	367,158	56.01人	358,760
	事業費計	千円	616,702	587,768	586,948	
	国県支出金	千円	1,748	1,013	760	
	受益者負担	千円	84,284	84,864	88,391	
	繰入金	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円	9,922	11,115	9,995	
	一般財源	千円	520,748	490,776	487,802	
	受益者負担比率	%	13.7%	14.4%	15.1%	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績		
結果指標量	説明	公立保育園11園での1日当たりの園児措置数	483	513		
対前年比	%	-	101.5%	106.2%		
活動コスト	円	616,702,000	587,768,000	586,948,000		
単位当たりコスト	円	1,295,592	1,216,911	1,144,148		

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
待機児童	成果指標名	目標値(A)	0人	0人	0人	0人
		実績値(B)	0人	0人	0人	到達目標値
		達成率(B/A)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
保育園に入所を希望し、入所要件に該当するにもかかわらず、定員超等の理由で入所できない児童を生じさせないことで目的を達成する。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ、< ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市・団体等から要望・要請が強い		A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
説明		幼保一体型施設とする事業を推進し、今後、その他市内各保育園の統廃合や幼保一体型施設の整備を検討する。							

総合評価		総合評価
関係法令で設置を義務づけられた施設であるが、保育に欠ける子どもを持つ家庭はもとより、未就園児の家庭を含め、地域における子育て支援を提供する施設として、今後において保育園の役割が重要になっている。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
取組目標		平成26年4月に三石認定こども園が開園し、その他の地区においても統廃合を含め、幼保一体型施設を計画し整備する必要がある。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価